



ダジック・アース は地球や惑星についての科学を楽しんでもらうために、学校や科学館や家庭で、地球や惑星を立体的に表示するプロジェクトです。京都大学を中心に開発されています。

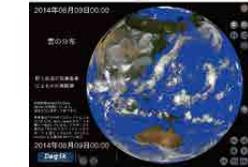
ダジック・アースには以下の3つのソフトウェアと「手作り地球儀」のための画像ファイルなどがあり、科学目的と教育目的に無償でご利用いただけます。

デジタル4次元地球儀

Dagik Earth



<http://earth.dagik.org/>



パソコン版ダジック・アース
<http://dagik.org/download/>

WindowsとMacでご利用いただけます。Zipファイルをダウンロードして解凍して、Dagik_Earth.exe (Windows)、あるいはDagik_Earth.app (Mac)を実行してください。



Web版ダジック・アース
<http://dagik.org/dow/>



パソコン、スマホ、タブレットなどでのWebGL対応のWebブラウザでご利用いただけます。



**iPhone, iPad用
ダジック・アース・アプリ**
<http://dagik.org/ios/>



左のQRコードからか、App Storeで「ダジック」で検索してください。



半球スクリーン (1m:風船式) パソコン PCプロジェクター

球形スクリーン (2m:風船式) ゲームコントローラ パソコン PCプロジェクター

鏡 PCプロジェクター iPad 半球スクリーン (40cm:半透明アクリルドーム)



<http://earth.dagik.org/>
 問い合わせ先: info@dagik.org

ダジック・アースは文部科学省の宇宙利用促進調整委託費(参画機関: 京都大学[理学研究科、情報学研究科]、情報通信研究機構、国立科学博物館、静岡大学、静岡科学館; 平成21-23年度)、宇宙科学技術推進調整委託費(参画機関: 京都大学、情報通信研究機構、静岡大学、宇宙航空研究開発機構; 平成25-27年度)、公益財団法人博報児童教育振興会の第12回児童教育実践についての研究助成、文部科学省宇宙科学技術推進調整委託費(参画機関: 京都大学、情報通信研究機構; 平成29-31年度)の援助を受けて開発されています。

台風・ハリケーン等の発生場所と海面温度

● は1990年から2009年までの20年間の台風・ハリケーン・サイクロンの発生場所を表しています。海域の色は海面の温度を示しています（黒色が0℃、赤色が30℃）。

台風・ハリケーン・サイクロンは温度が高い海の上で、さらに、赤道から少し離れた地域で、たくさん発生しています。赤道の近くの海は温度は高くて、発生に必要な水蒸気は空気中にたくさんあるのですが、空気が地球の回転の影響を受けにくいために台風・ハリケーン・サイクロンは発生しづらいのです。

コンテンツ作成: Dagik Team

台風経路データ: IBTrACS

台風経路データ提供: World Data Center for Meteorology Asheville

海面温度データ: ERSST.v2

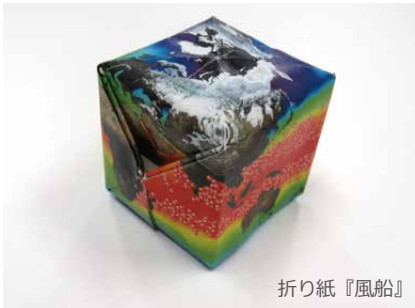
<http://www.ncdc.noaa.gov/oa/ibtracs/>

海面温度データ提供: NOAA National Climatic Data

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation

(MODISによって撮影された2004年12月の地表画像)

コンテンツ説明: <http://dagik.org/A/6/2/>



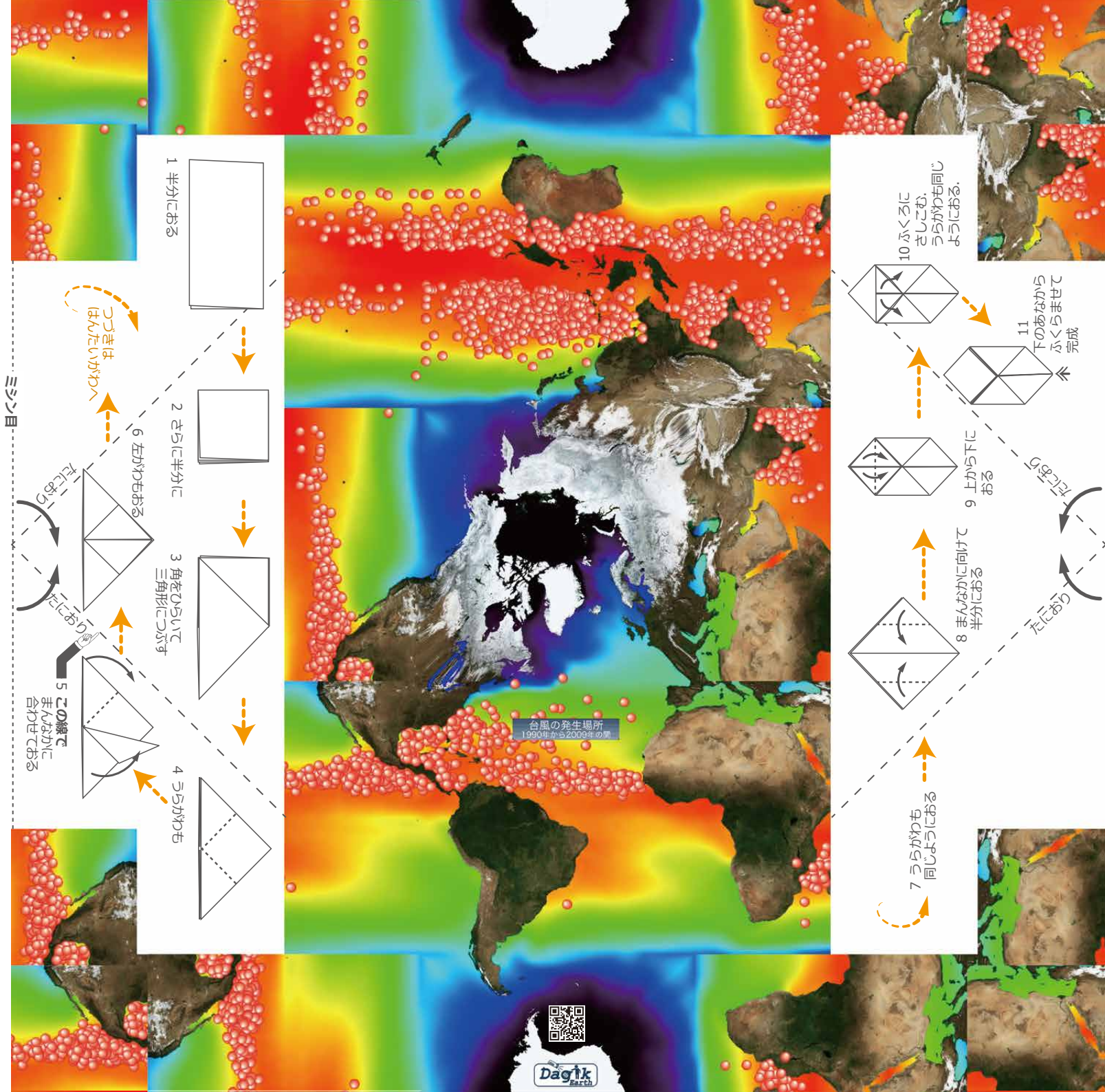
折り紙『風船』

折り紙の『風船』を折ると立体になります。

<http://dagik.org/globe/origami/fusen.html>

球面を立方体に投影するため、大きく形が歪んでいるところがあります。使用している投影図法についての説明や、その他の様々な型紙（地球、惑星など）は以下にあります。

<http://dagik.org/globe/menu/>



台風の発生場所
1990年から2009年の間



Dagik Earth



<http://earth.dagik.org>